

平成 16 年 9 月 10 日

株式会社ディー・エヌ・エー
南場 智子

「IT 国際政策の基本的考え方」について

誠に申し訳ございませんが、本日は所用により出席することが出来ませんので、書面にて意見を提出させていただきます。

1. IT 国際政策について

IT 戦略本部の取り扱う範囲を超える議論かもしれませんが、IT 国際政策を上位概念の国家戦略と切り離された形で論じようとするアプローチにやや疑問を感じます。米国は、国家戦略は安全保障も含めて明確化していますが、日本も、是非、政治的リーダーシップのもと、まずは国家戦略を明確にしていきたいと思います。

2. ODA について

実務面の改善は大事なことです。標準処理期間を定めて業務処理を迅速化することは、企業の BPR でリードタイムを短縮することと共通点があると思いますが、単に今かかっている期間をめやすに目標値を定めるだけでなく、ある工程になぜ時間がかかっているかという原因を分析し、問題を解決していくことが必要だと思います。是非、意味のある標準処理期間を定めて業務改革の契機にしていきたいと思います。

3. 運用基準の明確化について

運用基準はついつい「個別の案件次第」に流れがちだと思います。何とか類型化によって事前の透明性をできるだけ確保だと思います。

最後に、上述の標準処理期間や運用基準も実効性のあるものにするためには十分な準備が必要だと思います。あまり時間はないので、早速検討を開始すべきではないかと思います。

以上